



豊川海軍工廠で生産された双眼鏡
豊川海軍工廠の光学部という部署では、光学機器（双眼鏡や潜望鏡など）や、計測機器（測距儀や羅針儀など）を作っていました。これは手持ち用の7倍双眼鏡です。



500ポンド(250キロ級)爆弾の破片
昭和20年8月7日の豊川海軍工廠空襲の際に、御津町役場付近に落とされた500ポンド爆弾の破片です。割れ口は鋭利な刃物のようで、ずっしりと持ち重りがします。爆弾の怖さが伝わってきます。



豊川海軍工廠で使用されたラッパ
工廠や寄宿舍での生活は、ラッパの合図にもとづいて行われていました。起床ラッパや消灯ラッパなど、工廠での生活はラッパに始まりラッパに終わりました。



**豊川海軍工廠で生産された弾莢
(弾丸と薬莢)**
豊川海軍工廠（火工部）では、機銃が生産され、弾丸も大量に作られました。



豊川海軍工廠の給料袋
『決戦は空に在り』と山本元帥は身をもって示されたなどの戦局を反映した檄文が印刷された給料袋です。



帽章
職業・身分・所属などをわかりやすく示すために帽子につけたバッジです。「錨に桜」のデザインが施されています。